



現代アーティスト  
**中本 誠司** なかもと せいし



1939年11月に鹿児島県屋久島に生まれる。  
日本中を放浪し、画家になることを決意する。  
1972年から、海外に放浪の旅に出る。  
ソビエトをへて、ヨーロッパ、アフリカ、スペインにて滞在し、  
多くの作品を制作する。帰国後仙台へ移住。  
1976年には仙台に自分の作品の制作と発表の場として  
「中本誠司個人美術館」を自ら制作し完成させる。  
以後、日本、アメリカ、カナダ、スペインなどの多くの都市で  
個展、グループ展を開催する。  
1996年5月に悪性脳腫瘍を発病し、4年にわたる闘病生活をおくる。2000年4月逝去。

# ACCESS



JR仙台駅バスプールから

・2番のりば「宮城大学」行（県庁市役所(上杉通)泉アウトレット経由)  
「東勝山中央」下車 徒歩約5分

・3番のりば「宮城学院」行（市役所経由、上杉通経由）  
「東勝山中央」下車 徒歩約5分

・4番のりば「虹の丘団地キャンプ場」行（市役所／東勝山経由）  
「北仙台中学校前」下車 徒歩約1分



地下鉄旭ヶ丘駅から 車で約6分

東北自動車道 仙台・宮城ICから 車で約20分



## 中本誠司現代美術館

museo de arte contemporaneo de seishi nakamoto

[開館時間] AM10:00~PM6:00 [休館日] 火曜日  
〒981-0923 仙台市青葉区東勝山2-20-15  
TEL・FAX 022-272-7100  
<http://www.seishi-nakamoto.com>  
[office@seishi-nakamoto.com](mailto:office@seishi-nakamoto.com)

Facebook、Twitter、Youtubeもチェック! /

中本誠司現代美術館

検索

# 中本誠司 現代美術館

museo de arte contemporaneo de seishi nakamoto





## 閑静な住宅街の中、ひときわ異彩を放つスペイン風建築

芸術とは子どもが描く夢のように純粹であり、限りなく自由なものである。  
訪れるたびに人間が持つ感性の素晴らしさを思い起こさせてくれる「中本誠司現代美術館」。  
どこかガウディを思わせる白亜の建物は、現代芸術家・中本誠司が、60歳の生涯を閉じるまで拠点としていた  
自宅兼アトリエであり、仲間と共に自らの手で造り上げた、生涯最大の作品です。  
エネルギーに満ち溢れた氏の遺作、油絵やオブジェを堪能したら、屋上に登り、見事な眺望を満喫するのも一興。  
また、ここは若手芸術家にとっても貴重な空間となっており、1階のスペースでたびたびアート展が開かれています。  
中でも絵画と音楽のコラボレーションによるコンサートは、訪れる価値大。  
建築美に見惚れるもよし、中本の生き様に思いを馳せるもよし。知識やうんちくは必要ありません。  
感じるままに楽しんで頂きたい、素敵なアートスポットです。

### 企画展のご案内

- 初春展 (1月)
- 中本誠司現代美術館賞 (対象者は美術系大学生・一週間)
- 中本誠司展 (4月)
- 美術館で企画するもの (コンサート等)

※上記の期間を除き一般貸出しをしています。詳しくはホームページでご確認ください。

